

平成29年度 学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	80	学 校 名		結 城 第 二 高 等 学 校				課 程		定 時 制		学 校 長 名			時野谷 栄治		
教 頭 名	早瀬 昌良			有常 洋一郎									事 務（ 室 ） 長 名		上野 雅史		
教職員数	教諭	31	養護教諭	2	常勤講師	5	非常勤講師	16	実習教諭 A L T	3	事務職員	4	技 術 職員等	5	計	66	
生 徒 数	課程・学科	1 年 次			2 年 次		3 年 次		4 年 次		合 計		合 計				
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	ク ラ ス 数					
	定時制普通科	35		58	23	48	30	45	9	6	97	157	17				

2 目指す学校像

これまでの学校生活で個性・能力を適切に発揮できなかった生徒たちに対して、「人とつながるオンリーワン、みんなが資源、みんなで支援」を基調とし、

- 1 個に応じた指導を通し、向上心を高め、自己実現を目指せる学校
- 2 自己肯定感を培い、自他を理解・受容し、社会性をはぐくめる学校
- 3 地域社会と連携し、いつでもだれでも学べる、地域に開かれた学校
- 4 生徒との信頼関係を基盤に、教師自らの資質・能力の向上が図れる学校

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

項 目	現 状 分 析	課 題
学 習 指 導	・真面目な態度で学習に取り組んでいる。 ・生徒間の学力の差が大きく対応が難しい。 ・自ら主体的に取り組む積極性に欠けている。	・意欲的に学習に取り組めるように指導上の工夫を重ねる。 ・個別の学力格差に対応するために、集団の中で個に応じた指導を可能とするように環境を整備し指導力を高める。
生 徒 指 導	・自尊感情の希薄さやコミュニケーション力が不足している。 ・規範意識や自律的生活習慣が確立していない。 ・様々な安全教育や環境整備を維持し、定着してきている。	・あらゆる場面において生徒と積極的に関わり生徒理解に努め、生徒の自己教育力を引き出す。 ・良好な人間関係作りを、ひき続きサポートしていく。 ・外部機関や地域との連携を通じて生徒の人間性向上を目指す。
進 路 指 導	・適切な進路希望を持つことが難しい生徒が多い。 ・多様な進路希望を持つ生徒が多い。 ・学校全体の連携強化を図る必要がある。	・進路意識を向上させ適切な勤労観や職業観を育成する。 ・年次等と連携し進路ガイダンス等をより充実させる。 ・教務などと連携し基礎的な学力を身につけさせる。
特 別 活 動	・三部制のため、工夫して効率的な運営に努めている。 ・部活動の活動場所や活動時間の確保が難しい。	・活発で円滑な学校行事を運営する。 ・部活動の加入率の向上と活性化を図る。
教育相談活動	・中学時代に不登校などの欠席が多い生徒が、多く在籍している。 ・友人関係や家族関係の問題を多く抱えている生徒が多い。	・教職員の連携を強化し生徒理解を一層進めていく。 ・研修会などを積極的に開催し、スキルアップに努める。 ・外部機関とのより一層の連携を図る。

4 中期的目標

- 1 組織的にキャリア教育を推進し、生徒の自己実現を図る。
- 2 規範意識の高揚、自律的生活習慣の向上に努めるとともに教育相談体制の充実を図る。
- 3 地域からの信頼・支援、教育力を得るための取組を推進する。
- 4 教師と生徒との信頼関係により、安全で安心して通える学校づくりを推進するため、学習環境の維持改善や学校行事、部活動、ボランティア活動などの特別活動の推進、教師の研修機会の設定を積極的に行う。

5 本年度の重点目標

重 点 項 目	重 点 目 標
主体的・意欲的学習態度の育成による基礎学力の向上と、考える力の育成	① 言語活動を取り入れた授業形態等の工夫改善に努める。 ② 個に応じた指導を実践する。 ③ 生徒が主体的・意欲的に学習に取り組めるような指導を実践する。 ④ 生徒が自己学力の伸長を確認し、学習意欲の向上や考える力の育成につながる指導を実践する。
進路意識の向上及び進路実現に必要な能力の育成と情報提供	⑤ キャリア教育を組織的に推進し、社会性や職業観を養う。 ⑥ 進路ガイダンスの充実や適切な進路情報を提供することで、進路意識を向上させる。 ⑦ 多様な生徒に対応した指導に取り組み、生徒の主体的な進路選択や進路実現を図る。
規範意識の醸成、コミュニケーション力の向上を図り、自律的生活習慣の確立及び社会貢献できる豊かな人間性の育成	⑧ 自己肯定感を高め、自律的生活習慣を確立するなど、健やかな成長の基礎形成を徹底する。 ⑨ 問題行動の早期発見に努め、関係機関との連携を深め、未然防止と早期解決に努める。 ⑩ 安全教育や情報モラル教育を推進する。 ⑪ 社会奉仕体験活動を充実させ、地域と連携した多様な活動を推進する。 ⑫ コミュニケーション力の向上や豊かな心育成とともに、規範意識を培うための取組を推進する。
真に開かれた学校づくりと地域との連携の推進	⑬ 地域行事やボランティア活動への参加を推進するとともに、地域とともに取り組む避難訓練を充実させる。 ⑭ 学校設定科目での聴講生の受け入れや部活動などでの地域交流を通し、相互の教育力を共有する。 ⑮ PTA活動の充実を図り、保護者との連携を深め生徒支援をより効果的なものとする。
組織的な相談体制づくりとそれを生かす個に応じた対応の強化	⑯ 研修会等を通して個々の教職員のスキルアップを図る。 ⑰ スクールカウンセラー、キャンパスエイド及び関係職員が連携協力し、支援体制の充実を図る。 ⑱ 心身の健康の状態を的確に把握し、必要に応じて関係諸機関と連携し、個に応じた適切な対応をとる。
より積極的な特別活動の広がり実践	⑲ 多くの生徒が参加できる学校行事を企画・運営する。 ⑳ 学校行事や部活動を通して、生徒の主体性や積極性を引き出す。